

認知症に関する活動

機関・団体名	公益社団法人 宮城県看護協会
活動内容	<p>【普及啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県民向け情報紙「Kango のひろば」を活用し啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・2016.8月号 特集記事「認知症とともに生きる」 8,000部発行 ○市民公開講座開催 <ul style="list-style-type: none"> ・28年11月5日「認知症とともに生きる」 参加者 142名 認知症当事者の丹野氏・認知症の人と家族の会副代表若生氏・認知症専門医石原氏の3講師より講話 ○訪問看護提供時、本人や家族への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・随時 <p>【看護職への研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般研修 「認知症患者を理解する」 8月20日 135人 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症当事者の丹野氏・初期対応サポートチーム今田氏・認知症専門医石原氏の3講師より講話 ○一般研修 「地域とつなぐ認知症ケアパスの意義と活用」 12月3日 46人 <ul style="list-style-type: none"> ・仙台市健康福祉局川村氏・地域包括支援センター細谷氏の講話 民生委員等の普及啓発劇 ○認知症高齢者の看護実践に必要な知識 3クール(2日間) 174人 <ul style="list-style-type: none"> ・7月・10月・1月(インターネット配信研修) ○看護職員認知症対応力向上研修 2クール(3日間) 218人 <ul style="list-style-type: none"> ・8月・12月・ (宮城県委託事業)
活動に際しての課題	<ul style="list-style-type: none"> ○機会ある毎に、市民に対する老いること・認知症について啓発が必要。 ○看護職にも認知症やその対策について十分に認識されていない状況があり、研修の機会や会員向け広報紙「看護みやぎ」等活用し、機会をとらえた啓発が必要。 (会員向け広報紙「看護みやぎ」年4回 12,000部発行) ○様々な分野にいる看護職の横の連携 県内12支部単位(仙台市内4支部) 看護管理者のネットワークづくり ○多職種協働でそれぞれの職種の専門性を生かした関わり方の検討